

# 磐城時報

日刊 八十月  
郵政特准掛號認爲新聞紙類  
印刷所 磐城印刷所  
發行所 磐城印刷所  
電話 二五五  
廣告刊行 一月四角五分  
一月一元二角五分  
半年六元五角  
一年十二元  
（日曜、祭日）休刊

## 石城の晩秋蠶に 違蠶を生ずす

### 暑氣が續いて因 喰不足に起る

石城郡内に於ける晩秋蠶は掃立元石城郡役所に開いて對策を協  
校數約一萬枚で目下三眠から四眠する筈で、今後は公金に準ず  
眼の間であるから上簇は二十三日の預金をなして町村例へば  
日頃、出廻りは二十四五日頃か湯本區費、江名信用組合、豊間  
ら盛りになる豫想である、蠶況漁業組合等の預金を有する各町  
は過般打ち續いた暑氣のため喰村をも協議に加へる方針である  
不足をなした結果各所に自強蠶と。

## 四倉繭市場

### 秋繭取引況

石城販買利用組合四倉繭市場の  
秋繭取扱は漸やく終期を告げ去  
る十五日迄の取引高は一萬二千  
五百貫、價格六萬五千圓で平均  
五十二圓に當り前年より約一圓  
▲共同販賣施設の件

## 縣主催清酒品評會に 平町で協賛會組織

縣主催清酒品評會は來月十五、  
十六の兩日に亘り平町元郡役所  
會議室において開催さるべく右  
評議員等約百數十名の多數に上  
準備として酒井縣商工課長は十  
九日來平の豫定であると言ふが  
品評會には弘く縣下の生産品を  
網羅するは勿論各名産地の参考  
品を多數陳列する筈で尙ほ當日  
町外十八ヶ町村の善後策講究委  
員會は二十日午後一時から平町  
係各課長等臨席來賓として仙臺

## 磐銀預金 對策委員會

石城郡各町村に於て公金十九萬  
圓を磐銀銀行に預金してある平  
町外十八ヶ町村の善後策講究委  
員會は二十日午後一時から平町  
係各課長等臨席來賓として仙臺

## 米穀商 メートル法實施

來る十月一日から  
石城郡内米穀商組合では十月一  
日からメートル法を實施する筈  
であるが、之に先だち石城郡内  
各町村勸業主任並に技術員會を  
十九日午前九時から協議會を開  
く機會を利用し平穀物検査所  
は左の指示事項を提出する。

## 日勞黨可兒氏來平し 平署神經をとがらす

### 反動團體でも警戒 再興を企つ無産黨

日本勞農黨石城支部黨務執行委  
員會は十六日平支部に於て開催  
した、常磐地方における組合の  
勢力は昔日の面影なきまでに沈  
滞してゐるので本部では再び勢  
力を挽回すべく可兒義雄氏を石  
城支部の書記長に任命したので  
可兒氏は過般來山直ちに執行委  
員會を開き今後の方針につき協  
議を重ねるに當り、可兒氏は  
可兒氏は過般來山直ちに執行委  
員會を開き今後の方針につき協  
議を重ねるに當り、可兒氏は  
可兒氏は過般來山直ちに執行委  
員會を開き今後の方針につき協  
議を重ねるに當り、可兒氏は

## 野崎氏に答ふ

鈴木 黙 鐘

地方の銀行が一の問題から端  
を發し、財界の動搖を懸念す  
る處から是れを未然に防ぎ事  
は地方有志として正當な行爲  
であると思ふ、野崎氏が假り  
に平銀對力進社問題に關して  
奔走した事がありとすると、  
決して銀行の走狗とせざるな  
らば、野崎氏の名を傷けるも  
のでは絶對に無いと思ふ、そ  
れは地方有志として正當な舉  
措である。

## 野崎氏に答ふ

私は、野崎氏を信する、尊敬  
もする、私は幾度か、私の面  
前に於て氏に對し批難の言葉  
を聞く場合があるが、私は常

郡南地方の晩秋蠶は四齡二日前  
後にて掃立後眞夏をしのぐ高温  
の繼續から恰も初秋蠶の如く發  
育非常によく桑葉も近年珍らし  
い、作柄に違蠶等は見られぬ好  
成績を示してゐる、上簇は廿四  
五日頃の模様で相場も漸騰氣配  
であり目下のところ増收を豫想  
されてゐるので一般養蠶家は樂  
觀の体である。

## 産業組合視察

林主事小松直人氏は石城郡内産  
業組合視察のため十六日來平、  
十七日四倉町に至り繭市場事務  
を視察した。

## 酒造講習盛況

縣主催酒造講習會は十六日から  
二十日迄平町平稅務署樓上に開  
催中であるが聽講者は毎日五十  
名内外で講師課目左の如く二十  
日午後修得證を授與する。

## 第二次採種圃

石城郡農會では第二次採種圃の  
優良種子を農事試験場から購入  
五日と決定した。

## 平魚市場 拂込期日決定

平町魚市場は過般募集を締切つ  
たが、第一回の拂込期日は十月  
五日と決定した。

## 水産商業旅行

水産商業補習學校生徒二學年生  
以上約三十名は來る二十七日午  
前一時五十分發列車で東京、鎌  
倉、江の島、日光方面に約四日  
間の豫定で修學旅行を行ふ。

## 四倉校運動會

四倉  
小學校に於ては來る二十四日同  
校庭にて秋季運動會を行ふと。

## 石城郡南蠶況

石城  
郡南地方の晩秋蠶は四齡二日前  
後にて掃立後眞夏をしのぐ高温  
の繼續から恰も初秋蠶の如く發  
育非常によく桑葉も近年珍らし  
い、作柄に違蠶等は見られぬ好  
成績を示してゐる、上簇は廿四  
五日頃の模様で相場も漸騰氣配  
であり目下のところ増收を豫想  
されてゐるので一般養蠶家は樂  
觀の体である。

## 警中惜敗

警城中學校  
劍道部では去る十六日午前九時  
から同校で茨城縣師範學校と劍  
道試合を行つたが、第一回對抗  
試合は警中側惜敗、第二回は個  
人試合で六對四で師範の勝に歸  
した。

## 北部陸上競技會

石  
城郡北部第四區教育會では來る

### 植田町議 増員申請

植田町議の定員は現在十二名であるが前回の選挙においては既に十八名の定員となすべし人口上の資格ある所から六名の増員方を縣に申請せるが過般の人口調査が標準となつてゐたため僅の差で増員出來ざる事となり十二名制度に依つてゐたがそれ以來人口相當に増加を示してゐるので増員再申請中なるが同町の町議改選は明年六月廿九日で運

- 油 繪
- 水彩 畫
- 木炭 畫
- テンペラ 畫
- バステル 畫
- 用具一式

マルトモ柴田書店  
平町四丁目  
電話二三三四番

くもその時期までには當然十八名制度に改正せらるゝであらうから現在の半數だけは外に當選出來る譯で假りに倍數の名乘を上るものがあるとするれば三十六人となり兎に角も三十人は出馬確實と観られるのでソレ一話題に上つて来た。

### 吉田女史が 琵琶生花 教授

平町大町若松醫院向いづみや方に今回筑前琵琶並に古流生花の教授を開始した吉田旭良(生

花名は松望(理秀)女史は平町藤田女學校卒業後上京し七年間に亘つて琵琶は有山旭千師につき生花も家元について研究した人である。

訂正 昨十七日日本紙一面掲載の観客を邀する記事で平館辯士三浦某が観客を邀打したる旨報導したるは、三浦某が観客に邀られたので四倉署で加害者を捜索中である誤りにつき訂正す。

### 大禮博出品 決定問題に就て

縣染物業組合長 草野七五三之助

一、各支部組合員より紹介になり且つ新聞紙上でも問題となり又自分縣組合長として此決定問題に對し徹底せざる点多有り尙ほ此成行を以て進行したならば組合員に一大衝突を生じ此共同目的の研究機關を害するものと信じ何とか圓滿に妥協する方法はないものと本日十一月十日福の上親しく本間場長と會見して左記の如き意見の交換したので有り

問(草野) 此大禮博の出品決定問題に對し場長は何を基準として決定したか、從來縣組合の設立なき場合は縣は各町村に對し割當て、適當に出品を決定し、しかも幾年間の永く間此方法により何等問題なく圓滿に實行しつゝあつたのである、昨年來は縣の組合會が組織せられて此縣組合會は縣工業試験場と密接の關係を有し宛然車の兩輪の如く縣組合員は此試験場の指導機關によつて其技術の研磨向上を期し又縣の染織産業政策の遂行は此組合會と云ふ団体機關によつて、反映せらるゝのである。然るに縣組合設立の前

は我々同業者に於てすら各方面(現在の各支部)内二三の人は或は縣工業試験場と云ふ染織の指導研究機關はあると云ふ事は知り居れ共其他は工業試験場の存置を承知しない同業者もあるやに聞及んで居たのである、夫れが故に試験場の指導機關も充分に發揮する事が出來ず、從つて縣當局の見處も或は縣費支辨の割合に其實績が擧がらぬとすれば、試験場は無用の長物ではないが、比較的其効を奏せず故に昨春の如き問題が起つて或は工業試験場の經費削減の對し對し、或は存廢問題に對し當我々平任在任縣組合員は憂慮の余り自分外試名も態々出願して、福島市内の組合諸君と各關係當局及び市役所等を歴訪して該場經費の向上及存置の必要を力説し、市役所に向つては福島市の唱導する事を促しつゝあつたのである、然るに組合會の組織後縣内一般の同業者が右指導機關の設置を徹底せられ、其運用を知覺して從て試験場の實績も擧る幾分の面目を新たにせしものと思ふ、斯くの如く兩者相離

驚いた!!!  
こころまで安んじたい  
平・加納活版所の印刷物

るべからざる密接な關係にあるに不拘何故に出品決定を組合に諮問し一般組合會の平和と優良品の證衡とを謀り最善を期するの意志なくして、自己専斷に決定せしめのみならず組合にすら其通知をせず、我々組合は其決定が新聞に發表されてから初めて知ると云ふ始末である。

平町六丁目橋際  
木村外科醫院  
電話三〇九番

### 筑前琵琶教授 吉田旭良

有山旭千師直門  
平町大町若松醫院向いづみや方に  
家元師範

### 古流生花教授 松澤齊 吉田理秀

折入花教授  
(毎週日曜) 平町大町若松醫院向いづみや方

### 内科 小兒科 (院長毎日診療)

副院長 醫學博士 難波 波  
内科部長 醫學士 五十嵐 雄二  
外科部長 醫學士 伊吹 彪二  
外科部長 醫學士 鈴木 憲二  
婦人科 醫學士 鈴木 憲二  
産婦人科 醫學士 鈴木 憲二  
産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄二  
院長 醫學博士 川添 正道  
本院主事 賀吉 孝平  
電話 七二番

### 光線新設 (診断治療)

主任 醫學博士 難波 波  
本院主事 賀吉 孝平  
電話 七二番

### 共濟病院

入院料 共濟會員一日金貳圓參拾錢也 賄付  
一般患者一日金貳圓八拾錢也 賄付  
電話六四二番 城  
入院自炊之便アリ 看護婦募集

### 花柳病科 專門

平町六丁目橋際  
木村外科醫院  
電話三〇九番

### 外科新設

内臓外科 專門 藤本 順  
一般外科 部長 藤本 順  
平町新川町  
木村外科、産科醫院  
院長 木村寅次郎  
電話一六四番

### 養命酒

不思議な靈効を有する  
まじひしのエキス  
半月分一・五〇  
一月分二・〇〇  
甘味にして頗る芳香飲み易し眞に補血強壯劑の高級品也  
代理店 平町五丁目角  
山野邊藥局

### 釜屋商店

和洋銅鐵 金物問屋  
釜屋商店  
電話一九三九番  
磐城セメント會社特約店

### 四家又一

弟剛兼て死去の處告別式  
は十九日午後二時自宅に於  
て執行可仕候につき此段御  
通知申上候  
九月十八日  
内郷村  
外親戚一同